

# 1

## 「食の6次産業化プロデューサー」(食Pro.)とは?

### ■「食の6次産業化プロデューサー」(愛称:食Pro.)とは?

生産(1次産業)、加工(2次産業)、流通・販売・サービス(3次産業)の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たなビジネスを創出する方のことです。

### ■「食の6次産業化プロデューサー」の認定・育成システム

- いま、「食」や「地域」をめぐるさまざまな課題を解決するため、「食」の付加価値の向上や生産性の向上を強固な「経営力」のもとに進める「食の6次産業化」のプロ人材の育成が急務です。
- 食Pro.のプロレベルは、「農林水産物を高付加価値化する事業の企画に携わり、市場開拓を先導するとともに、参画する主体間の利害関係を調整し、適正な付加価値配分を行ことができ、異業種横断でプロジェクトを組成・管理し、実績を上げることができる人材」です。
- 食Pro.では、エントリーレベルのレベル1からトッププロのレベル7まで、7段階でレベル認定を行います。(当面、レベル5~7の認定は行わない予定です。)
- ご自身の現状に近いレベルから取り組むことができます。



- 「食の6次産業化プロデューサー」とは食分野で新たなビジネスを創出する方のこと
- レベル認定には、エントリーレベルからプロレベルの方まで取り組み、ステップ・アップが可能

# 2

## 対象となる方とは？

食の6次産業化の現場で活躍する方、食の6次産業化に興味がある方ならどなたでも対象になります！



農林漁業者の方

- 自分で作った農林水産物の加工にチャレンジして収入を増やしたい！
- 新鮮な農林水産物を消費者に直接販売したい！



食品産業、外食産業、流通・小売業、商工業などで働く方

- 農林漁業者とコラボレーションして地元の特産品を活用した商品・サービスづくりをしたい！



行政機関で働く方、農協・漁協で働く方、コンサルタント、アドバイザー、プランナー、コーディネーター

- 地元の生産者と一緒に地域ブランドを作りたい！
- 地域おこしに貢献したい！



農業高校・水産高校、大学（農・食品関係学部）、農業大学校・水産大学校、専門学校などに在学中の方

- 卒業したら何をしようかな？

食分野で新しい価値を創造する「食の6次産業化プロデューサー」(食Pro.)をめざしませんか？

※「プロデューサー」の言葉には、食分野において新たなビジネスを創出することにより「新しい価値を創造していく方」という意味が込められています。自らがプレイヤーとしてビジネスに取り組む方も、周りでサポートする方も、関係者のコーディネートを行う方も、どなたも対象になります。

ここがポイント！



- 対象となるのは食の6次産業化の現場で活躍する方や興味のある方
- 農林漁業者の方、食品産業・外食産業の方、流通・小売業の方、行政機関、農協・漁協で働く方、学生の方など幅広く対象

# 3

## どんなメリットがあるの？

### 「キャリア段位」を活用すれば…

一人ひとりごとにきめ細やかな「わかる」と「できる」のレベル認定を受けられます。(P4)

### 「食の6次産業化」に取り組む一人ひとりが…

今の自分を客観的にチェック

キャリア・パスの明確化

目標の具体化



- 自分の「わかる(知識)」と「できる(実践的スキル)」がどの程度の水準にあるかを客観的にチェックできます。
- また、さらなるステップ・アップを図るためには何を理解してどのような実践的スキルを身に付けばよいのかを確認できます。
- 新たにチャレンジする方にとっては、将来のキャリア・パスや成功のモデルが明確になります。

### 「食の6次産業化プロデューサー」に認定されると…

自己の能力・スキルをPR

消費者や事業者の信頼性が高まる

採用チャンスの拡大



- 国が認定する「食の6次産業化プロデューサー」として自己の能力・スキルをPRすることができます。レベル認定者は、名刺に「食Pro.」のロゴマークを入れられるほか、希望に応じて認定されたレベル、氏名、居住地(都道府県名)、連絡先などをウェブサイトに掲載することができます。



- 消費者や他の事業者からの信頼性が高まることにより、「食の6次産業化」を行う上で不可欠なビジネスパートナーを見つけやすくなるなど、ビジネスの発展・拡大が期待されます。
- 法人での処遇の改善や採用チャンスの拡大が期待されます。

ここがポイント！



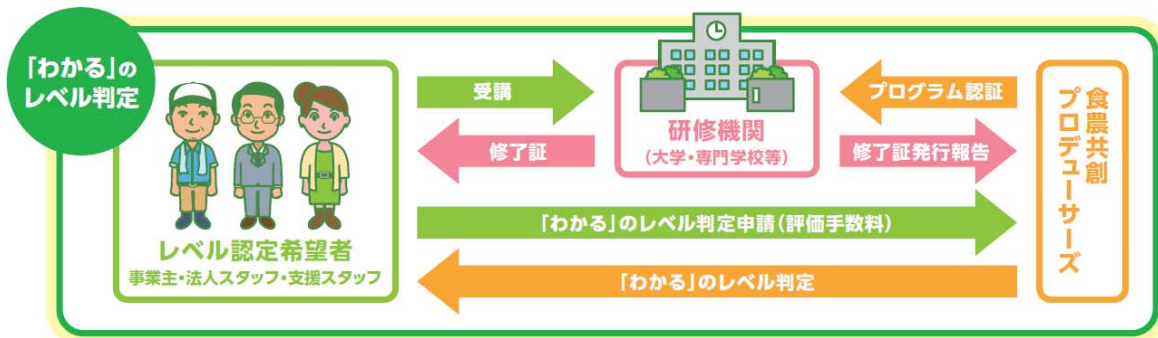
- きめ細やかな「わかる」と「できる」のレベル認定を受けられる
- 今の自分が客観視でき、将来のキャリア・パスが明確になる
- 能力・スキルのPR、ビジネスパートナーの広がり、採用チャンスの拡大

# 4

## 「わかる」と「できる」のレベル判定のしくみ

### ■「わかる」のレベル判定

- 「わかる」は、高校、大学、民間の教育機関等が提供する「育成プログラム」を受講し、修了した上で、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- 「育成プログラム」は、研修機関からの申請に基づいて審査され、内容、講義の形式、時間等が基準を満たしていると認められたものです。
- 内容等が基準に合致していても認証されていないプログラムの受講では、レベル判定を申請できませんのでご注意ください。



### ■「できる」のレベル判定

- 「できる」は、ご自身の経験等に基づいて、申請書、必要書類を整え、直接、食農共創プロデューサーズにレベル判定を申請します。
- 申請された書類等は、専門のプログラムを受講して試験に合格した「認定審査員」が審査します。
- レベル4では、書類審査のほかに、認定審査員2名による面接試験があります。試験時間は、約1時間で、うち30分は、申請書の内容に関するプレゼンテーションをしていただきます。



### 評価対象と想定レベル

レベル	わかる (知識)	できる (実践的スキル)	ポイント
レベル4以上	— (対象外)	○	●プロレベルを「できる」判定のみで認定 ●書類審査に加え、面接試験(1時間、うち30分プレゼンテーション)が必須
レベル3	○	○	●「わかる」は専門プログラム等を想定したレベル ●「できる」は実務について、書類審査で判定
レベル2	○	○	●「わかる」は大学、農業大学校を想定したレベル ●「できる」は実務、演習等を書類審査で判定
レベル1	○	— (対象外)	●「わかる」判定のみで認定 ●農業高校、水産高校等を想定したレベル